



たから

特集！総合的な学習の時間

育てよう！広めよう！
漣のたから（3年生）



「子どもたちと綿を作ろう会」の方たちと綿の種を植えました。



綿の茎を材料にして「紙すき」にチャレンジ



綿の中から種を取り出す「綿くり」体験。



たくさんの人に伯州綿を知ってもらいたい。

やさしさいっぱい
外江のまち（4年生）



「えがいの会」の皆さんにアドバイスをもらいました。



三好自治会長から「空き家」の説明をうけています。



自分たちで撮影した写真をもとに話し合いです。



学習でまとめたことを地域に掲示してもらいました。

「職業・お仕事についての講話」（三中1年生）
～地域の先輩に学ぶ～



石飛駿さん（境港消防署）
生徒が防火服と酸素ポンベを背負って重さを体験。仕事を選ぶポイントや地元で働く魅力についてお話を聞きました。



渡邊冬樹さん（渡辺商店）
会社経営者の観点から、地域に必要とされる会社を目指すために努力しておられることや生き方についてお話を聞きました。

総合的な学習の時間は、子どもたちが自ら学び、自ら考え、主体的に学ぶ時間です。身近な地域の「ひと・もの・こと」にふれながら子どもたちは自分の世界を広げていきます。子どもたちの興味関心から学習を発展させ、地域課題を解決していくために自分たちには何ができるのか、自分たちがこれからどう生きていくのかを考えます。

こうした学びを支えるために、地域からたくさんの方にゲストティーチャーとして学校に来ていただいています。こんな力をつけてほしいという先生の思いと、こんな子どもに成長してほしいという地域の方の思いが学習を通して繋がります。皆さんも子どもたちに熱い思いを語ってみませんか？

先日、小学校に行くと、遊んでいる児童が「おにごっこだけドタッチはしないんだよ」と教えてくれました。感染症予防のため給食は黙食です。いろいろなルールをきちんと守りながら、元気に生活している子どもたちを見てとてもたくましく感じました。

文責：高梨 典子（地域学校コーディネーター）